

BELLUNA

Business Report 2014

ベルーナ

第38期 株主通信

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)



ポートフォリオ経営の強化、
新たな事業の成長促進等により、
第二次短期経営計画の達成を目指します。



当期の概況

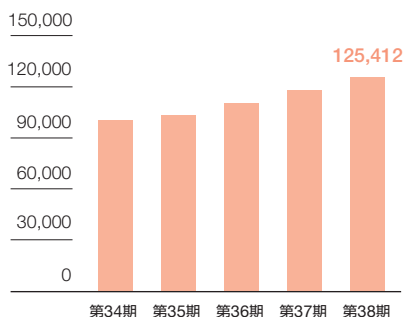
当期の連結ベースの売上高は、前期比6.4%増の1,254.1億円となりました。これは、看護師向け通信販売事業を展開する(株)アンファミエの株式の取得やプロパティ事業で販売用不動産の売却があったことなどによるものです。

利益面では、総合通販事業などでは減益となりましたが、プロパティ事業の貢献やファイナンス事業の復調など

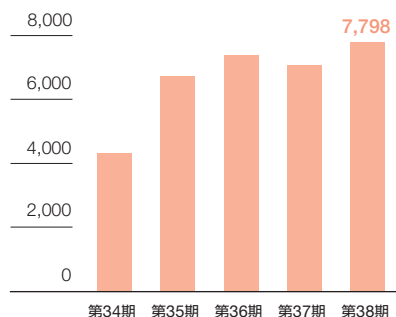
により、営業利益は77.9億円(同10.1%増)となりました。また、経常利益は104.3億円(同17.1%増)、当期純利益は70.1億円(同19.5%増)となりました。

財政状態について、建設仮勘定やのれんが増加したことにより、総資産は前期末比155.6億円増加の1,306.4億円となりました。一方、負債は同87.0億円増加の571.6億円となりました。この結果、純資産は同68.6億円増の734.8億円となり、自己資本比率は56.2%となりました。

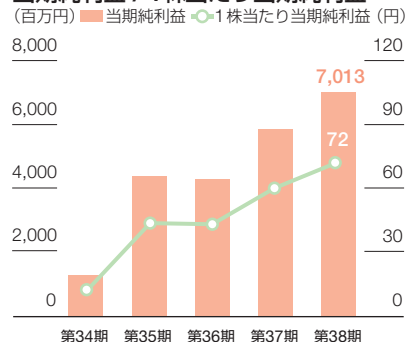
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



当期純利益 / 1株当たり当期純利益*



※ 平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を基に表記しています。

当社グループを取り巻く環境

当期におけるわが国経済は、財政政策や日銀の金融緩和などにより円安・株高へ転じ、企業収益も輸出関連企業を中心に好転するなど全体として景気回復に明るい兆しが現れております。一方で、円安による輸入品価格の上昇やお客様の低価格志向など小売業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

ポートフォリオ経営の強化

このような環境下におきまして、当社グループは「①ポートフォリオ経営の強化」、「②新たな事業の成長促進」、「③通販インフラの整備」、「④株主還元の見直し」を基本方針として“通信販売総合商社”の熟成を目指す、第二次短期経営計画に取り組んでおります。

「①ポートフォリオ経営の強化」では、既存事業の強化に取り組んでいます。専門通販事業では、平成25年8月30日に看護師向け通販事業を展開する(株)アンファミ工、平成26年1月31日にベビー・ギフトの通販事業を展

開する(株)ベストサンクスを子会社化し、事業領域の拡大を図っています。

新たな事業の成長促進

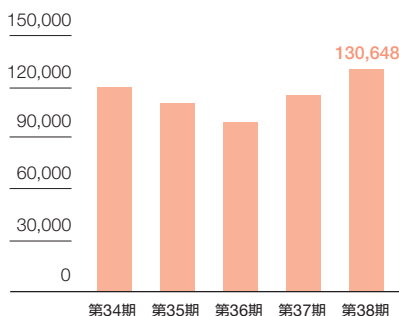
「②新たな事業の成長促進」として、店舗販売事業では、平成23年よりミセス層向けのアパレル店舗を展開しており、店舗数は平成26年3月時点で17店舗になりました。今後も着実に店舗数を増やしなが、販売チャネルの拡大を図ってまいります。また、和装関連商品の店舗を展開している(株)BANKANも堅調に売上を伸張し、事業拡大に貢献しています。

今後の見通し

当社グループは、平成28年3月期に売上高1,600億円、営業利益120億円を目指す第二次短期経営計画に取り組んでいます。初年度となった当期は、総合通販事業での苦戦もあり、売上高、営業利益ともに計画未達となりました。第二次短期経営計画の中間年度となる次期は、売上高

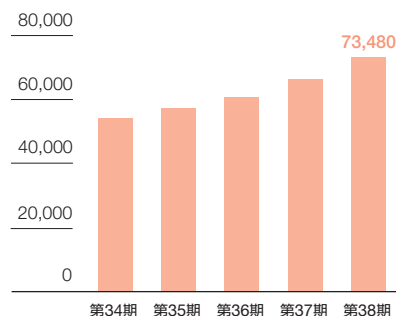
総資産

(百万円)



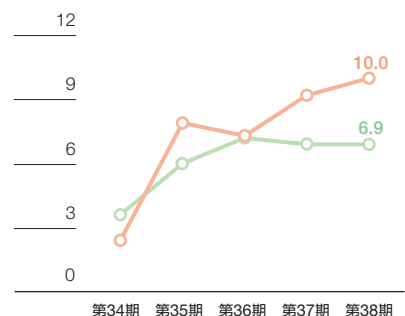
純資産

(百万円)



ROE^{*1}およびROA^{*2}

(%)



※1 自己資本利益率 = 当期純利益 ÷ 期首・期末自己資本平均 × 100

※2 総資産利益率 = (営業利益 + 受取利息 + 受取配当金) ÷ 期首・期末総資産平均 × 100

株主・投資家の皆様へ

1,400億円、営業利益105億円を計画しておりますが、消費税増税による消費の反動減が見込まれるなど先行き不透明感もあり、増収となるものの第二次短期経営計画の目標数値を下回る見込みとなっております。厳しい環境下ではありますが、基本方針である「①ポートフォリオ経営の強化」、「②新たな事業の成長促進」、「③通販インフラの整備」、「④株主還元の見直し」を着実に実行し、最終年度での第二次短期経営計画の達成を目指してまいります。

株主還元に対する考え方

当社は、企業価値の向上を通じて株主の皆様の日ごろのご支援に報いることを重要な方針として考えています。当期の配当につきましては、期末配当を1株当たり6.25円で実施させていただきこととし、年間では中間配当の1株当たり6.25円(平成25年10月1日付の普通株式1株につき2株の株式分割を反映した修正計算ベース。株式分割

前は12.5円。)と合わせて1株当たり12.5円といたしました。次期につきましては、実質的には据え置き年間配当12.5円を予定しています。

今後も、業績の状況および中期的な成長のための戦略的投資を勘案した上で、安定的な配当を実現してまいります。

当社グループは創業以来の方針である「顧客志向・顧客密着」を忠実に守り、お客様の衣食住遊を豊かにする商品・サービスを時代のニーズに合った形で提供し続け、多くのお客様に支持される企業を目指してまいります。

今後とも、当社グループへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

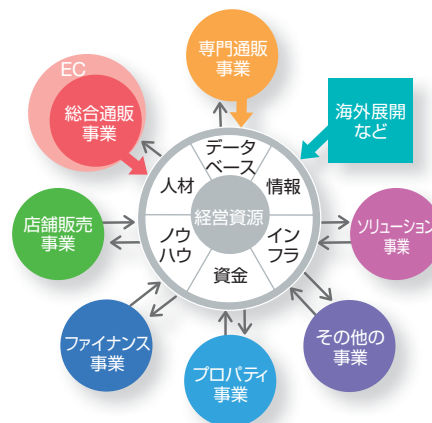
平成26年6月

代表取締役社長 安野 清

ビジネスモデル

複数事業のシナジー効果で、高い成長性と収益性の実現を目指すビジネスモデル“通信販売総合商社”

- 1 総合通販で培った「顧客データベース」を活用し、専門通販・受託などのデータベース関連事業で安定した収益基盤を作る
- 2 更に、卸売や店舗などの新たな事業群でプラスαの収益を生む
- 3 海外展開などのチャレンジも戦略的に行い、次なる成長の芽を育てる



第二次短期経営計画 (平成26年3月期～平成28年3月期)

経営基本方針

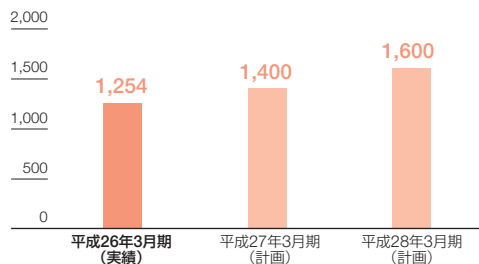
“通信販売総合商社”の熟成



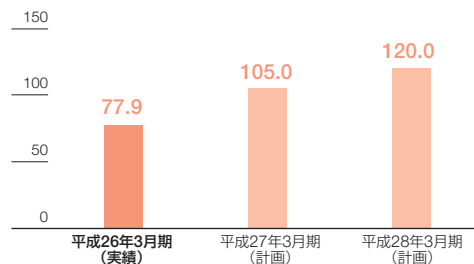
- 1 ポートフォリオ経営の強化
- 2 新たな事業の成長促進
- 3 通販インフラの整備
- 4 株主還元の見直し

数値目標

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

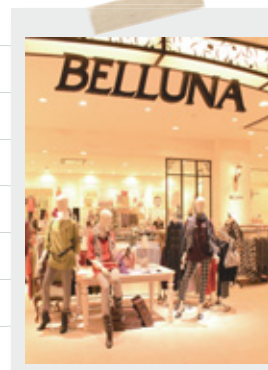
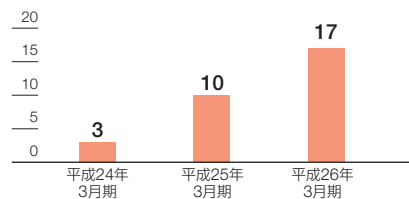


Point!

店舗販売事業の拡大は、順調に進んでいます。

平成23年11月にカジュアル衣料の直営店舗「BELLUNA」第1号店を出店し、順調に店舗数を拡大しています。平成26年3月現在、関東を中心に計17店舗を展開しており、今後、通販とのシナジー効果も図りながら更なる拡大を狙います。

店舗数推移 (店舗)



イオンタウン守谷店

新たな事業分野で、更なる成長を目指します

当社グループは、経営資源を最大限に活用することにより、ポートフォリオ経営の更なる進化を図っています。

看護師向け通販事業 株式会社アンファミエ

infirmière

国内売上高
シェア
No.1

平成25年8月30日、看護師向け用品の通販事業を行う(株)アンファミエを子会社化いたしました。平成26年4月の調査によると、平成24年度の国内の看護師向け通信販売市場において、(株)アンファミエは売上シェア1位となっています*。今後、(株)ナースリーとのシナジー効果を発揮することで、専門通販事業の大きな柱として成長を目指してまいります。

* (株)東京商工リサーチ調べ

会社概要

社名 株式会社アンファミエ
売上高* 58億14百万円

* 平成25年3月期売上高



TOPICS

より成長性の高い分野へ経営資源を投下～韓国ファイナンス事業の株式を譲渡～

平成26年3月28日に、ベルネットクレジットカンパニーリミテッドの全株式を、韓国において貸金業を展開している(株)テムコへ譲渡しました。今回の株式譲渡により、成長性の高い分野へと経営資源を投下し、“通信販売総合商社”としての熟成を図ってまいります。

Best Thanks

ベビー・ギフト通販事業 株式会社ベストサンクス

平成26年1月31日、ベビー・ギフト用品の通販事業を行う(株)ベストサンクスを子会社化いたしました。これまで当社グループで展開していなかったベビー事業への参入による新規顧客獲得、またギフト事業では既存事業との相乗効果により、事業の拡大を図ってまいります。

会社概要

社名 株式会社ベストサンクス
売上高* 109億23百万円

※ 取得対象事業の平成25年3月期売上高



ベビー事業・マタニティ事業～メイプルランド・モンテール～

実店舗でのベビー・こども服販売が苦戦する一方、家に居ながら買い物ができる通信販売での売上は拡大しています。「メイプルランド」では0～4歳までのベビー服やベビー雑貨、「モンテール」ではマタニティウェア・用品を扱っており、お求めやすい価格とデザイン性で好評をいただいています。



ギフト事業～ベストサンクス～

「ベストサンクス」では、「メイプルランド」や「モンテール」で購入したお客様に向けて、出産内祝いをはじめ、結婚内祝い、引越し祝い、お中元、お歳暮などさまざまなシーンに合わせたギフト商品を取扱っています。



Topics

01

40代の女性に向けたカタログ「ラナン」を強化



総合通販事業では、40代の女性に向けた通販カタログ「ラナン」を強化しています。「ラナン」は、「私は私のおしゃれに行く。大人女子の通販雑誌」をコンセプトに、平成24年夏に創刊されました。「ラナン」では、ベーシックなものからトレンドを取り入れたものまで、幅広いアイテム約500点を取り揃えています。

Topics

02

食品総合カタログ「笑顔の晴れごはん」を創刊

グルメ専門通販「ベルーナグルメショッピング」では、平成25年4月に食品通販カタログ「笑顔の晴れごはん」を創刊しました。「笑顔の晴れごはん」は、1点から買える単品商品を中心とした食品の総合カタログで、450点以上の商品が掲載されています。商品の情報だけでなく、レシピやマナーなど食に関する多彩な情報を掲載しており、情報誌としても楽しめるカタログとなっています。



Topics

03

看護師通販「ナースリー」が看護師の協会と連携して障害者支援



ノベルティのバスボム



プロジェクトのロゴ

(株) ナースリーは、一般社団法人日本精神科看護協会（以下、日精看）と協同で、精神障害者の社会参加を促進する取り組み「しごとをつくろうプロジェクト」を平成25年11月より実施しました。このプロジェクトでは、日精看会員に向けた「ナースリー」の特別カタログから商品を購入した方に、精神障害者の働く工場で製造されたバスボム(入浴剤)をノベルティとして付与することで、精神障害者の社会参加の促進を図るものです。

Topics

04

「均等・両立推進企業表彰」埼玉労働局長優良賞を受賞

(株) ベルーナは、厚生労働省が実施する「均等・両立推進企業表彰」の均等推進企業部門にて、埼玉労働局長優良賞を受賞しました。これは、ポジティブ・アクション推進窓口を設置し、女性のキャリア意識の向上や管理職への積極的な登用を行っていることや、結婚や出産といったライフイベントと仕事の両立を可能にするため勤務形態を多様にするなどの取り組みが評価されたものです。

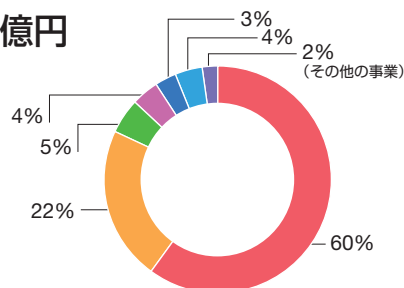


マネジメント研修「社長塾」の様子

連結業績の概況

連結売上高

1,254億円



総合通販事業

カタログやインターネットなどを媒体とする、アパレル・雑貨・インテリア用品などの総合型の通信販売事業

専門通販事業

グルメ・化粧品・健康食品・看護師用品などの専門分野に特化した通信販売事業

店舗販売事業

アパレル品および和装関連商品等の店舗販売事業

ソリューション事業

封入・同送サービスや通販代行サービスなど、当社グループのデータベースやインフラを活用した受託事業

ファイナンス事業

通信販売事業の顧客を主な対象としたB to Cファイナンス事業、および事業会社向けのB to Bファイナンス事業

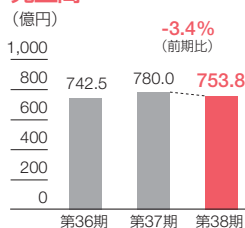
プロパティ事業

オフィスビルなどの賃貸、および再生・開発を手掛ける不動産事業

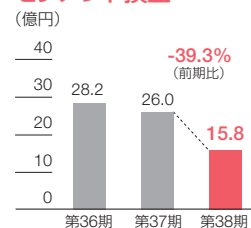
総合通販事業

低採算商品を絞り込んだことに加えて天候不順などもあり、売上高は753.8億円(前期比3.4%減)となりました。また、セグメント損益は、物流関連費の増加などにより15.8億円の利益(同39.3%減)となりました。

売上高



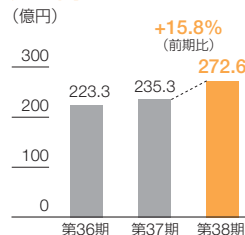
セグメント損益



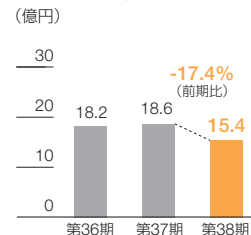
専門通販事業

(株)アンファミエの株式の取得もあって、看護師向け事業が大幅に売上を伸ばしたことにより、売上高は272.6億円(同15.8%増)となりました。一方で、セグメント損益はグルメ事業が苦戦したことなどにより15.4億円の利益(同17.4%減)となりました。

売上高



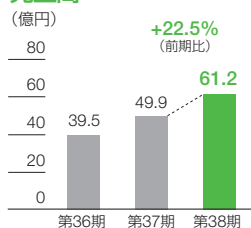
セグメント損益



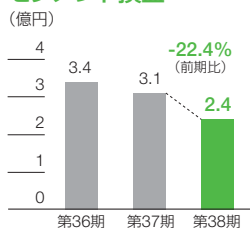
店舗販売事業

アパレル店舗事業に加えて、和装の店舗展開を行っている(株)BANKANが順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は61.2億円(同22.5%増)となりました。一方で、セグメント損益は新規出店コストもあり、2.4億円の利益(同22.4%減)となりました。

売上高



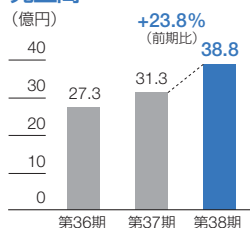
セグメント損益



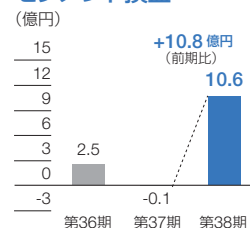
ファイナンス事業

国内消費者金融事業を中心に営業貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は38.8億円(同23.8%増)となりました。また、セグメント損益は貸倒引当金繰入額の大幅な減少などもあって10.6億円の利益(前期は0.1億円の損失)となりました。

売上高



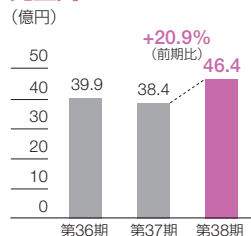
セグメント損益



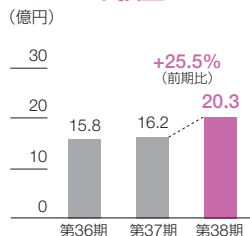
ソリューション事業

封入・同送サービスと通信販売代行サービスが順調に推移したことにより、売上高は46.4億円(同20.9%増)、セグメント損益は20.3億円の利益(同25.5%増)となりました。

売上高



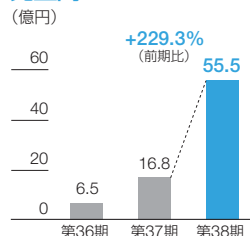
セグメント損益



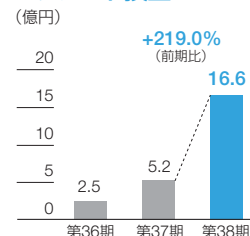
プロパティ事業

販売用不動産の売却により大幅な増収増益となり、売上高は55.5億円(同229.3%増)、セグメント損益は16.6億円の利益(同219.0%増)となりました。

売上高



セグメント損益



(注)平成25年4月1日より、セグメントを変更しており、変更後のセグメントに基づき記載しています。

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

	第38期 平成26年3月31日現在	第37期 平成25年3月31日現在
資産の部		
流動資産	66,667	65,091
現金及び預金	16,401	14,833
受取手形及び売掛金	11,462	11,444
営業貸付金	16,873	16,457
商品及び製品	14,326	12,754
販売用・仕掛販売用不動産	1,464	3,915
その他	6,870	7,022
貸倒引当金	△730	△1,337
固定資産	63,980	49,987
有形固定資産	42,748	35,230
建物及び構築物	14,126	12,192
土地	20,124	19,646
その他	8,495	3,391
無形固定資産	7,358	3,896
投資その他の資産	13,873	10,860
投資有価証券	8,801	7,099
長期貸付金	2,099	1,642
破産更生債権等	363	2,776
その他	2,956	1,599
貸倒引当金	△347	△2,257
資産合計	130,648	115,079

【資産合計】

資産合計は前期末に比べ15,569百万円増加しました。これは、建設仮勘定やのれんが増加したことによるものです。

(単位：百万円未満切捨)

	第38期 平成26年3月31日現在	第37期 平成25年3月31日現在
負債の部		
流動負債	33,701	38,723
支払手形及び買掛金	15,193	17,052
短期借入金	5,829	7,456
未払費用	7,013	6,740
その他	5,665	7,473
固定負債	23,466	9,743
長期借入金	19,557	5,783
利息返還損失引当金	1,099	1,149
その他	2,810	2,810
負債合計	57,167	48,466
純資産の部		
株主資本	72,875	66,835
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	60,941	54,900
自己株式	△9,676	△9,675
その他の包括利益累計額	604	△222
少数株主持分	0	0
純資産合計	73,480	66,612
負債純資産合計	130,648	115,079

【負債合計】

負債合計は前期末に比べ8,701百万円増加しました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものです。

【純資産合計】

純資産合計は73,480百万円となり、前期末に比べ6,867百万円増加しました。なお、自己資本比率は56.2%となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

	第38期 自平成25年4月 至平成26年3月	第37期 自平成24年4月 至平成25年3月
売上高	125,412	117,884
売上総利益	68,739	65,719
販売費及び一般管理費	60,940	58,638
営業利益	7,798	7,080
営業外収益	3,238	2,056
営業外費用	605	226
経常利益	10,431	8,910
特別利益	281	88
特別損失	730	24
税金等調整前当期純利益	9,982	8,974
法人税、住民税及び事業税	2,319	3,077
法人税等調整額	650	26
少数株主損益	△0	0
当期純利益	7,013	5,870

【売上高】

(株) アンファミエの株式の取得もあり専門通販事業が売上を伸ばしたほか、プロパティ事業において販売用不動産の売却があり、売上高は前期比6.4%の増収となりました。

【営業利益】

プロパティ事業の貢献やファイナンス事業の復調などもあって、営業利益は前期比10.1%の増益となりました。

【当期純利益】

営業利益の増加に加え、受取利息、受取配当金などの増加により、当期純利益は前期比19.5%増となりました。

連結包括利益計算書

(単位：百万円未満切捨)

	第38期 自平成25年4月 至平成26年3月	第37期 自平成24年4月 至平成25年3月
少数株主損益調整前当期純利益	7,013	5,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	596
為替換算調整勘定	794	290
その他の包括利益合計	818	887
包括利益	7,831	6,758

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

	第38期 自平成25年4月 至平成26年3月	第37期 自平成24年4月 至平成25年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,766	7,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,397	△7,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,721	2,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	75	47
現金及び現金同等物の増減額	1,166	1,804
現金及び現金同等物の期末残高	14,500	13,334

【現金及び現金同等物の増減額】

税金等調整前当期純利益が増加した一方、法人税等の支払額が増加したことなどにより、営業活動の結果得られたキャッシュは5,766百万円となりました。有形固定資産の取得による支出、子会社株式の取得による支出などにより、投資活動の結果使用されたキャッシュは15,397百万円となりました。また、長期借入れによる収入の増加などにより、財務活動の結果得られた資金は10,721百万円となりました。これらにより、当期末のキャッシュは前期比1,166百万円の増加となりました。

カタログラインアップ

当社グループでは、マインド年齢や趣味・嗜好に合わせ、総合型・専門型のカタログを実に年間30種類以上も発行しています。またインターネット・スマートフォンにも対応しています。



ベルーナ
ミセス向け
総合ファッション
カタログ

1



ルフラン
ミセス向け
総合ファッション
雑貨カタログ

1



リュリュ
20代女性向け
総合ファッション
カタログ

2



素敵な生活
総合生活雑貨
カタログ

1



いきいき家族
食の専門カタログ

3



マイワインクラブ
ワイン専門カタログ

3



リフレ
サプリメント専門
カタログ

4



オージオ
化粧品専門カタログ

5



ナースリー
看護師専門カタログ

6



アンファミエ
看護師専門カタログ

7



ベストサンクス
ギフトカタログ

8



**ベルーナネット
ショップ**
belluna.jp
ryuryu.jp
belluna.jp/interior

【お問合せ】

・カタログをご希望の方は、カタログ横の番号1～8に合わせて右記へお問い合わせ下さい。
・お届けするカタログは最新号です。お時間がかかる場合がございますので予めご了承下さい。

1 0120-888-111

2 0120-04-4580

3 0120-307-963

4 0120-22-9299

5 0120-0210-10

6 0120-85-4679

7 0120-79-5115

8 0120-15-7117

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数.....260,000,000株

発行済株式の総数.....113,184,548株

株主数(除く自己名義).....6,505名

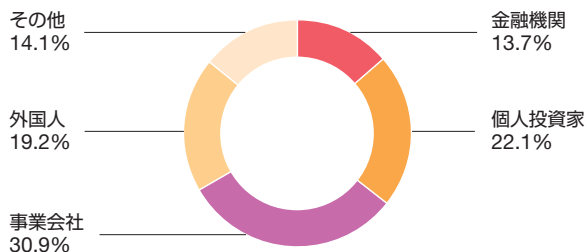
注)当社は、平成25年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって分割するとともに、単元株式数を50株から100株に変更いたしました。

大株主

大株主(上位10名)	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社フレンドステージ	33,510	34.4
安野 清	10,934	11.2
ビービーエイチ フォー フィデリティ ロー プライズド ストック ファンド(プリンシパル オール セクター サポートフォリオ) 常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	9,945	10.2
安野 公	3,642	3.7
株式会社三井住友銀行	3,324	3.4
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,917	1.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付 信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,546	1.5
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO 常任代理人 シティバンク銀行株式会社	1,242	1.2

注)信託銀行各々の持株数には、信託業務に係る株式が含まれております。

所有者別株式分布状況



会社の概要 (平成26年3月31日現在)

商号 株式会社ベルーナ

資本金 106億7百万円

代表者 安野 清(代表取締役社長)

創業 昭和43年9月

設立 昭和52年6月

従業員数 1,212名(連結)

事業内容 カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、卸売等の分野で展開する通販総合商社

ホームページ <http://www.belluna.co.jp/>

主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京オフィス	(東京都新宿区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東オーダーレセプションセンター	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下クリニックセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)

役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役社長	安野 清	取締役	下川 英士
取締役	安野雄一朗	常勤監査役	河原塚隆史
取締役	穴戸 順子	監査役	中村 勲
取締役	島野 武夫	監査役	渡部 光行
取締役	生川 雅一		

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日/中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 6月下旬
- 基準日(定時株主総会関係) 3月31日
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎0120-232-711(フリーダイヤル)
- 公告の方法 電子公告により行う
<http://www.belluna.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として**20.315%**^{*}の源泉徴収税率が適用されます。
※ 所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要がございます。
ご所有の株式のうち、特別口座に登録された株式をお持ちの株主様は「**株式数比例配分方式**」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株式会社 **ベルーナ**

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号
TEL : 048-771-7753(代表)
(ホームページ) <http://www.belluna.co.jp/>



本誌は、森林環境に配慮したFSC
認証紙に植物インクを使用して
印刷しています。